

# ごんなごんが決まりました

## ●正確な情報を発信

地震、津波等の自然災害の際に正確かつスピーディーに緊急情報を町民や来町者等に伝えることで、被害の未然防止や拡大を防ぎ、観光客・来町者に向けて観光・イベント情報の発信を行います。

町の魅力をアピールすることを目的とした「広野町LED防災情報表示システム」設置の議案を可決しました。

また、電源立地地域対策交付金を財源とします。

**工事の名称**  
広野町LED防災情報表示システム設置工事

**施行場所**  
下北迫字苗代替35（役場庁舎屋上）

**工事請負代金**  
5940万円

**工期**  
着工 平成28年12月15日  
完成 平成29年3月27日

**請負者**  
東日本電信電話株式会社  
※P6にイメージ写真

## ●道路線の認定及び廃止

平成28年12月7日に県道広野・小高線が供用開始されたことに伴い、防災緑地も一般利用できるようにしました。

これにより、2路線を廃止し、新たに4路線を認定する広野町道路線の認定及び廃止についての議案を可決しました。

1 認定する路線		
路線名	起点	距離
	終点	
観音前～川原田線	下浅見川字観音前地先	499 m
	下浅見川字川原田地先	
防災緑地線	下浅見川字本町地先	968 m
	下北迫字浜田地先	
高萩～坊田線	折木字高萩地先	475 m
	下浅見川字比屋蔭地先	
北釜～大谷地原線	下北迫字北釜地先	2,133 m
	下北迫字大谷地原地先	
2 廃止する路線		
路線名	起点	距離
	終点	
久保田2号線	下北迫字久保田地先	43.5 m
	下北迫字久保田地先	
高萩～大谷地原線	折木字高萩地先	4,063.8 m
	下北迫字大谷地原地先	



開通に向け進む工事（坊田橋）

## 全会一致で可決

# 除染対策費など 3億2435万円を増額補正

### 補正の結果

会計名	補正額	(補正後の予算額)
一般会計	3億2693万円	(126億782万円)
国民健康保険特別会計	▲742万円	(11億6796万円)
土地開発事業特別会計	52万円	(3億5309万円)
公共下水道事業特別会計	1万円	(2億9519万円)
介護保険特別会計	197万円	(5億6736万円)
後期高齢者医療特別会計	234万円	(2395万円)

### 主な内容

- 除染対策費（東町仮置き場の法面・排水溝の改修工事等） 2億8541万円
- 財産管理諸経費（部分林契約の解除に伴う※撫育補助金等） 9382万円
- 道路維持補修費（町道全般の維持補修の測量設計委託料等） 970万円
- 住宅施設管理費（大平住宅及び虻木住宅の庭の柵修繕料） 932万円

※金額は、全て千円以下を切り捨てて表示しています。

## 補正内容

※撫育  
大切に育てること

平成28年度一般会計補正予算ならびに5つの特別会計補正予算は、主に東日本大震災及び原子力災害からの復興を図るため、歳出の主なるものは、財産管理費、財政調整基金費、児童館費、除染対策費、道路維持費、住宅管理費などの増額と企画総務費と復興事業費の減額です。歳入の主なるものは、県支出金、諸収入額などの増額と地方交付税、国庫支出金の減額です。

## 採択

### 「給付型奨学金」の創設及び無利子奨学金の拡充を求める意見書

提出者 遠藤 浩 賛成者 渡邊 正俊  
小磯 利雄

### 【要旨】

政府は平成28年6月2日に閣議決定した「ニッポン一億総活躍プラン」において、返済不要の「給付型奨学金」を盛り込みました。納税者である国民の理解を得つつ、安心して勉学に励めるよう、次の措置を講ずるよう強く要望します。

1. 奨学金や授業料免除などの支援を拡充し、平成29年度を目途に給付型奨学金を創設すること。

2. 無利子奨学金の貸

与を目指し、無利子奨学金の残存適格者を直ちに解消すること。

3. 低所得世帯は、学力基準を撤廃し無利子奨学金を受けられるようにすること。

4. 返還月額が所得に連動する新所得連動返還型奨学金は、既卒者への適用も推進し、有利子奨学金の金利を引き下げることを。

### 提出先

内閣総理大臣  
財務大臣  
文部科学大臣

平成28年12月14日